

(別添 4)

【精華町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 目指す学びの姿について

精華町では、「精華町立学校 9 年間の ICT 教育が目指す児童生徒像」を具体化し、町内全小中学校で共有しています。メインテーマを「未来を生き抜く子どもの育成を目指して」とし、「デジタルシティズンシップスキル」・「情報活用スキル・リテラシー」・「コミュニケーションスキル」・「論理的思考と問題解決スキル」の 4 つの資質能力を全ての児童生徒に身に付けさせるべく、主体的で対話的で深い学びを実現するための効果的な ICT 利活用を進めていきます。

2. GIGA 第 1 期の総括について

本町では、令和 2 年度の GIGA スクール構想に基づく 1 人 1 台端末及び高速大容量の通信ネットワークの整備、全ての普通教室への大型提示装置の設置を完了させ、令和 3 年 9 月から個別学習等支援サービスを導入することで本格運用をスムーズに始めることができました。一方で端末本体の保存領域の不足や学校ネットワークの通信速度の推奨帯域未達などがハード面での課題として挙げられます。

また、精華町 ICT プログラミング教育推進委員会を立ち上げ、プログラミング教育やデジタルシティズンシップ教育の系統的な推進、目指す児童生徒像の共有など、町全体で方向性を確認しながら取組を進めてきました。その結果、小学校を中心とした端末利活用率の向上が見られました。一方で、学校間・教師間の利活用格差や資質能力の育成に資する授業改善を進めるうえでの効果的な利活用という点ではまだまだ課題が大きいと言えます。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

精華町では、GIGA スクール構想第 2 期において、端末を更新し、児童生徒 1 人 1 台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取組みを進めていきます。

また、第 1 期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していきます。

まずハード面に関しては、端末本体の保存領域の不足については次期更新時に本体容量を一定量増やし、運用方法の見直しを図るとともに、ネットワークの通信速度については、回線速度の高速化も視野に入れて環境整備を行うことで、利活用がスムーズに行える基盤づくりを進めていきます。

また、格差や効果的な利活用に関する課題については、精華町 ICT プログラミン